

報第 4 0 号

公益財団法人柏崎地域国際化協会経営状況報告書

令和 6 年（2 0 2 4 年）9 月 5 日提出

柏崎市長 櫻 井 雅 浩

令和6（2024）事業年度 事業計画及び予算

公益財団法人柏崎地域国際化協会 令和6年度事業計画書

本協会の設立目的は、多文化共生の地域づくりです。柏崎地域でも、今後、外国人住民の数が増えることが予想され、地域の重要な担い手としての期待がますます高まっています。世界の全ての人が、国や人種・文化の違いを超えて互いを認め合い、心豊かに暮らせる社会を目指します。

令和5年度は、5月の新型コロナウイルス感染症5類移行以後、講座等への参加人数が徐々に増えてきました。また、「交流」をキーワードに既存の活動を見直し、令和6年1月には、大きな交流イベントを開催することができました。

令和6年度は、この流れを更に発展させ、言葉や文化の紹介を通じた交流活動を充実させます。再開が予定されている柏崎市の中国友好都市との交流事業に協力します。地域の方々と協働しながら、生活に必要な情報や災害への備えを分かりやすく伝える工夫をしていきます。また、日本人と外国人との理解の橋渡しを担う言語文化サポーターの育成を継続して進めます。協会の存在や活動を広く紹介し、相談活動の充実に努めます。

国連が提唱する持続可能な開発目標 SDGs を意識して、目標に沿った活動を続けます。

公益目的 地域国際化事業

7,815 千円

1 国際化に関する事業(定款第4条1項(1))SDGs



4,191 千円

国際協力貢献

官公庁及び大使館への提出書類の翻訳、柏崎市を多言語で PR するための事業等の翻訳通訳などに協力します。友好都市を含む世界の地域との交流に関する文書翻訳や通訳など、事業協力を行います。言葉の支援を通して、人や国の不平等をなくすために協力します。

語学文化講座

人材育成のための講座です。言語とともに文化も学ぶことを重視し、より深い理解につなげます。現行の英語(初級1・中級2)、韓国語(入門・会話)に加え、夜の初級英語講座を新設し、学生や仕事を持つ人が新たに参加しやすい環境を整えます。中国語講座は、文化交流に重点を置き、多文化理解講座として、シリーズで開設します。

多文化理解講座

日本の風習習慣や世界のことを知る講座です。外国出身者が柏崎地域で自信を持って活躍してほしい、住んでいる地域のことをもっと知ってほしいとの思いで、講師から外国の文化紹介や、言語文化サポーターの協力による日本文化体験などを行います。また、引き続き、学校へ出向いて実施する多文化共生の出前講座を企画・支援します。

また、防災に焦点を当てた講座を実施し、「やさしい日本語」や習慣の違いについて考える活動を企画します。

2 情報の収集提供事業(定款第4条1項(2))SDGs



1,332 千円

多言語情報

国際化の事業をよく知ってもらうために、また、地域住民へ安心安全を伝えるために、言語文化サポーターの協力で、生活や防災に役立つ情報をやさしい日本語、英語を始め、他の外国語でも発信できるよう、今の取組を推進します。ホームページの充実を図るとともに、フェイスブックや他の SNS アプリとの連動について検討します。柏崎を世界に発信するための活動にも協力します。

広報啓発

世界を意識した国際活動に興味を持ってもらうために、当協会の活動報告や事業周知をする、国際化協会ニュースを発行します。多文化共生理解を地域に広めることを目的としています。

3 活動協力育成(定款第4条1項(3))SDGs



770 千円

人材育成

多文化共生社会の中での橋渡しのできる人材を育成します。地域で頼りになる言語文化サポーターの育成を続け、活躍できる場を地域と連携して作ります。災害時外国人支援研修では、外国人をサポートする人材の研修を充実させます。情報が届かず被災者になってしまう人々を、少なくするためです。オンラインでの研修や情報共有の方法についても工夫します。

民間協力

誰にでも気軽にできる国際協力として、市民と共に取り組んでいる活動です。家にある外国コインをお寄せいただき、公益財団法人日本ユニセフ協会(日本での国際連合児童基金)に送り、世界の子どもの命と健康、権利を守る活動に役立ててもらっています。未使用の切手・はがき、書損じはがき及び使用済切手やテレフォンカードなどを集めています。それを、特定非営利活動法人シャプラニールに送り、主にバングラデシュやネパールの人々の生活向上を目指した活動にいかしています。また、国際関係を学ぶ団体やインバウンド推進の研修会などへの講師依頼に応じます。地域と連携し、公正で平和に向かうための活動になるよう協力します。

4 地域協働支援(定款第4条1項(4))SDGs



1,522千円

生活相談

外国関連の生活相談に対応します。地域住民の人権を守ることにつながるからです。通訳を必要とする行政の手续や学校などに、依頼があれば通訳を派遣します。相談者の不安を取り除き、解決に向けて、より専門的な機関へつなぐ役割を担います。オンラインを活用した専門家や他の組織との連携について研修し、相談活動の充実を図ります。

日本語支援

日本語学習を続けることは、学習意欲が高まること、日本理解が進むこと、職業を得ることにつながるなど、地域での生活がより豊かになります。社会人、技能実習生、中学高校生を対象に、日本語教室を昼夜開講します。この教室は一つの居場所となっていて、心の安定につながっています。講師は、日本語指導に十分な知識と経験を積んだ言語文化サポーターが務めています。また、新たな担い手を育成する研修に力をいれます。

柏崎市教育委員会から依頼を受けた場合、研修を受けた方を日本語指導員として推薦します。外国にルーツを持つ子どもたちが、質の高い教育にたどり着けるようにするためです。

法人管理業務

1,110千円

理事会、評議員会、監事会、執行役員会の開催、法人の運営に関する事務局経費です。

科 目	公益目的事業	法人管理	令和6年度予算	令和5年度予算	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	312,000	210,000	522,000	522,000	522,000	522,000	522,000	522,000
その他の財産運用益	0	0	0	0	9	6	4	6
受取会費	550,000	0	550,000	500,000	591,000	570,000	527,000	421,000
団体賛助会費	450,000	0	450,000	400,000	470,000	440,000	410,000	340,000
個人賛助会費	100,000	0	100,000	100,000	121,000	130,000	117,000	81,000
事業収益	1,885,000	0	1,885,000	1,470,000	1,735,907	1,589,367	1,202,524	540,533
国際協力貢献事業	150,000	0	150,000	60,000	146,000	140,000	51,500	48,000
語学文化事業	1,500,000	0	1,500,000	1,200,000	1,345,907	1,326,067	982,224	444,333
多文化理解事業	100,000	0	100,000	100,000	100,300	63,100	71,800	13,000
その他事業	135,000	0	135,000	110,000	143,700	60,200	97,000	35,200
受取補助金等	4,850,000	900,000	5,750,000	5,750,000	5,889,740	5,850,000	5,850,000	5,750,000
受取柏崎市負担金	4,800,000	900,000	5,700,000	5,700,000	5,700,000	5,700,000	5,700,000	5,700,000
民間団体委託金	50,000	0	50,000	50,000	189,740	150,000	150,000	50,000
受取寄付金等	5,000	0	5,000	5,000	0	0	0	0
雑収益	1,000	0	1,000	1,000	102	7,743	109	612
受取利息	500	0	500	500	102	107	109	412
雑収益	500	0	500	500	0	7,636	0	200
特別費用積立金取崩収入								500,000
経常収益計	7,603,000	1,110,000	8,713,000	8,248,000	8,738,758	8,539,116	8,101,637	7,734,151
(2) 経常費用								
給与	3,748,500	550,500	4,299,000	4,276,800	4,082,900	4,276,800	4,216,800	4,128,000
臨時雇賃金	200,000	0	200,000	164,800	407,089	34,300	647,878	985,390
法定福利費	640,000	96,000	736,000	706,000	663,576	704,738	732,809	644,107
福利厚生費	0	28,000	28,000	28,000	10,330	23,390	23,699	24,873
退職給付金	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給与引当金	0	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
会議費	112,000	40,000	152,000	105,000	167,955	40,731	40,116	25,961
旅費交通費	212,000	4,000	216,000	214,000	204,914	166,284	30,540	40,010
通信運搬費	141,000	40,000	181,000	207,000	178,314	205,139	176,607	146,130
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	473,000		
消耗品費	161,000	16,500	177,500	158,000	447,866	375,857	307,338	138,551
印刷製本費	124,000	6,000	130,000	158,000	121,762	122,564	102,829	102,798
賃借料	326,500	56,000	382,500	278,000	353,447	304,885	282,164	75,745
諸謝金	2,052,000	20,000	2,072,000	1,705,000	1,836,869	1,472,059	1,480,185	698,080
広告宣伝費	20,000	33,000	53,000	83,000	49,300	36,300	418,000	
支払負担金	70,000	0	70,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
支払手数料	0	120,000	120,000	0	100,000			
支払寄付金	5,000	0	5,000	5,000	0	0	0	0
雑費	3,000	40,000	43,000	83,000	79,178	15,096	66,567	47,100
地域国際化事業積立金繰入額								100,000
多文化共生事業積立金繰入額								500,000
経常費用計	7,815,000	1,110,000	8,925,000	8,251,600	8,783,500	8,331,143	8,605,532	7,736,745
当期経常増減額	△ 212,000	0	△ 212,000	△ 3,600	△ 44,742	207,973	△ 503,895	△ 2,594
科 目	公益目的事業	法人管理	令和6年度予算	令和5年度予算	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増益額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 212,000	0	△ 212,000	△ 3,600	△ 44,742	207,973	△ 503,895	△ 2,594
一般正味財産期首残高	2,310,573	5,260,387	7,570,960	7,615,702	7,615,702	7,407,729	7,911,624	7,414,218
一般正味財産期末残高	2,098,573	5,260,387	7,358,960	7,612,102	7,570,960	7,615,702	7,407,729	7,411,624
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000
指定正味財産期末残高	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000
III 正味財産期末残高	102,098,573	5,260,387	107,358,960	107,612,102	107,570,960	107,615,702	107,407,729	107,411,624

令和5（2023）事業年度決算に関する書類

令和5年度事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこともあり、講座等への参加人数がコロナ禍以前の数に戻りつつあります。また、「交流」をキーワードに既存の活動を見直し、1月には大きな交流イベントを開催しました。語学文化講座、日本語教室及び多文化理解講座は、予定どおり実施しました。そのほか、多言語情報の発信や生活相談、翻訳依頼などに対応しました。

公益目的 地域国際化事業

I 国際化に関する事業

・ 国際協力貢献

主に、翻訳事業と通訳派遣事業を実施しました。個人からの依頼は、出身国大使館や市役所へ提出するための戸籍謄本などの書類の日本語から英語又は英語から日本語への翻訳、年金事務所に提出するための書類の翻訳などです。また、中国宜昌市政府訪問団が来訪した際や、マレーシア水球ジュニアクラブ及びオーストラリア水球選手の市長表敬訪問の際には、当協会の言語文化サポーターが通訳を務めました。

・ 語学文化講座

春期、秋期及び冬期講座を以下のとおり開催しました。講座種別は、英語を3クラス、韓国語を2クラス、時間を90分とし実施しました。講師については、年齢性別によらず真に教授能力のある方をお願いしました。内容については、受講生が言葉や文化を深く理解する講座となるよう依頼しました。

実施講座及び対象人数（延べ人数）

	初級英会話 昼	英会話昼	英会話夜	たのしい 韓国語	はじめての 韓国語	計
春期(10回)	11 (110)	6 (60)	15 (150)	10 (100)	4 (40)	46 (460)
秋期(12回)	13 (156)	7 (84)	15 (180)	9 (108)	5 (60)	49 (588)
冬期(8回)	14 (112)	7 (56)	14 (112)	5 (40)	6 (48)	46 (368)
計	38 (378)	20 (200)	44 (442)	24 (248)	15 (148)	141 (1416)

※「はじめての韓国語講座」は、令和4年度冬期に開講し、令和5年度春期、秋期と継続講座としました。令和5年度冬期には、「韓国語入門講座」として新設し、新たな参加者を募りました。

・ 多文化理解

【6/26(市民プラザにて) 日本文化体験講座:和食かんたんクッキング】

外国出身者を対象として実施しました。参加者は日本語教室受講生、技能実習生、留学生、ALTなどでした。講師は、海外生活経験のある栄養士に務めていただき、「手巻き寿司・チキンソテー・胡麻和え」を作りました。食材はハラール対応とし、やさしい日本語のレシピも作成しました。通訳者や言語文化サポーターも加えて総勢28名参加の講座となった調理室には、久しぶりの活気と笑顔があふれ、交流が深まりました。四季や素材を味わう「和食」の良さも伝わったと思います。



【8/9(市民プラザにて) 多文化理解講座:キッズサマースクール Hello, America Olá, Brazil】

小学生を対象に実施しました。まずはウォーミングアップとして、参加者が2組に分かれ、風船やプールヌードルを使ったリレーで競いました。英語とポルトガル語の応援のかけ声も体験しました。次にアメリカ出身の講師とスキューアー(串に刺すスナック)を作り、ブラジル出身の講師とは、左右対称の絵で表紙を飾るオリジナルノートを作成した後、ブラジルの子どもたちが実際に行っている手遊び歌を一緒に楽しみました。異国の雰囲気を感じながら過ごした夏休みの1日となりました。

【9/16(市民プラザにて) 多文化理解講座 中華で交流 本格中華に挑戦】



市内で中華料理店を経営する中国出身の講師をお迎えし、料理を通じて中国の文化や言語に親しました。肉まんの皮を小麦粉から作成し、その皮で具を包む過程は見るより難しい作業でしたが、サポーターの援助もあり講師と参加者との絶好の交流の場となりました。冬本番を前に「自宅でも作ってみたい」という感想が多かったことは印象的でした。

【11/1(市民プラザにて) 多文化理解講座 やってみよう!中国語で親しむ手芸】

市内在住の中国出身の方を講師としてお迎えし、簡単な中国語を交えながら中国結びを制作しました。また、中国結びがどのように使われているか等を、現在と過去を比較しながらの講話も楽しいひと時となりました。後半の中国茶を囲んでの交流会は、講師と参加者同士の距離をぐんと縮めました。講師の丁寧な指導は、参加者の満足度を高めたと思います。

【11/13(柏崎市役所にて) やってみよう!やさしい日本語ステップアップ】

昨年度に引き続き、早稲田大学大学院日本語教育研究科 柳田直美教授をお招きし、外国出身の方と一緒にやさしい日本語を体験する講座を開催しました。

講義「やさしい日本語」の概要と必要性

ワークショップ① やさしい日本語に変えてみよう

(例: 停電、公共の交通機関)

ワークショップ② 窓口対応のビデオを見て、外国人の気持ちになって考える

ワークショップ③ 「防災訓練のお知らせ」をもとに、外国人を訓練に誘う

参加者からは、「やさしい日本語は相手のことを考えて思いやること」、「普段の生活にも取り入れていきたい」などの感想がありました。当協会言語文化サポーターや外国出身支援者を含め、総勢38名で、やさしい日本語の重要性を学んだ講座となりました。



【11/25(市民プラザにて) 国際理解セミナー「アジアから世界を知る モンゴルを知る90分!」】

(公財)新潟県国際交流協会と共催で開催いたしました。新潟産業大学蒼原烏瑠吉講師に、「アジアから世界を知る モンゴルを知る90分!」と題し、ご講演いただきました。モンゴル地域の歴史、生活・自然環境・風俗習慣の移り変わり現状及びモンゴル語(文字)について講義がありました。講師からの惜しみない資料の提供は、参加者がモンゴルの

地をより身近に感じるきっかけとなったようです。また、このセミナーは、オンラインでの参加も可能としました。市内外から19名の参加者があり、オンライン参加者からの質問にも対応していただきました。

【12/5・12/7（新潟県立はまなす特別支援学校にて）多文化共生 学校出前プロジェクト】

2日間実施しました。両日とも、当日伺う予定の講師と通訳が作成した紹介ビデオを、前もって送付しました。これは、プロジェクト当日にスムーズに開始できるようにとの配慮です。

実施日	学年	紹介した国	当日の流れ
12月5日	中学部 1,2 年生合同 (対象：生徒 10名)	ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> ・ポルトガル語の挨拶で開始する。 ・生徒さんから歓迎のダンスを披露してもらう。 ・国旗紹介も交え、ブラジルの紹介を行う。 ・ブラジルで行われている手遊び歌と一緒に楽しむ。 ・サンバのリズムで、ブラジルの音に親しむ。 ・講師よりミサンガのプレゼントをする。
12月7日	中学部 3 年 生 (対象：生徒 10名)	インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア語の挨拶で開始する。 ・インドネシアの気候や民族衣装などを説明する。 ・インドネシア流ジャンケンで交流を深める。 ・バティックを立体的に画用紙に貼り、大切な人へのクリスマスカードプレゼントを作成する。 ・多数用意した中から好みの民族衣装を試着する。

両日とも、柏崎市に滞在の方から講師と通訳を務めていただきました。複数人で出向いたため、皆さんとの交流が密になったと思います。「異国を感じる良い経験となった」「丁寧な説明でありがたい」「わかりやすい説明でその国をイメージしやすかった」などの感想をいただきました。

【1/21（市民プラザにて）THE 国際ウインターフェスタ 2024】

総勢 120 名を超える方々と開催しました。箏と尺八の音色に始まり、大筆書道の実演に見とれ、わら細工に熱中しました。中国交流会では、日本語と中国語の違いのクイズを楽しみ、中国のスイーツに舌鼓を打ちました。韓国風のお辞儀や独特の遊びを体験できた韓国交流会も人気となりました。白と杵でついた餅でのおもてなしで締めくくったこの日は、交流や体験を自粛せざるをえなかった3年間を取り戻すような1日となりました。



【3/1（市民プラザにて）多文化理解講座 英語とスイーツのタベ】



イギリス出身の講師をお迎えし、イギリスの伝統菓子を作りながら交流を深め、後半では講師の母国を画像と共に紹介していただきました。この日は、英国ウェールズ地方の記念日「聖ディヴィッド日」ということも手伝い、講師と参加者にとって特別なタベとなりました。

また、受付から調理そして講話まで全て英語で行い、講師と言語文化サポーターが積極的に参加者と英語で懇談したことは、参加者の満足度が高まった旨の感想をいただいた要因となりました。

II 情報収集提供事業

・ 多言語情報運営

オンラインで、ホームページやフェイスブックを通して情報を発信しました。主にホームページではイベント情報を、フェイスブックではタイムリーな情報を掲載し、発信しています。特にフェイスブックでは、熱中症の予防や災害発生時の関連情報など広報かしわざきの内容を参考に、やさしい日本語で発信しました。内容は、言語文化サポーターが英語翻訳したり、自分の SNS で拡散したりし

ています。

・ 広報啓発

会員募集の案内を4月に配布するとともに、各種講座参加者へ会員加入のお願いなども実施し、団体は41団体、個人は91名に加入いただいております。団体、個人とも新規加入がありました。また、3月に柏崎市内町内会回覧として協会ニュースを発行しました。これまで多文化共生に触れたことがない方にも当協会の活動に興味を持っていただく機会となりました。

Ⅲ 活動協力育成事業

・ 人材育成

職員が外国人防災関連研修、通訳基礎講座及びやさしい日本語に関する研修に参加しました。当協会の日本語教室の講師も出席した「防災時の外国人支援セミナー」では、備えの重要性を痛感し、今後取り組むべき課題と再認識しました。

言語文化サポーター代表者を3回開催しました。第1回目は、柏崎市防災訓練と同時に「多言語支援センター立ち上げ訓練」を実施しました。「避難所で話す際の声の音量の目安が分からない」など、日頃は気付きにくい意見を伺いました。第2回目は、「やさしい日本語ステップアップ」に代替し、第3回目は、能登半島地震時の様子や対応について聞き取り、意見交換を3月に行いました。地震時について、外国出身者の生の声を聴く機会となりました。

・ 民間協力

当協会窓口で以下のものを収集しました。

◆ ステナイ生活協力 送付先：特定非営利活動法人シャプラニール

未使用切手・はがき、使用済切手、テレフォンカードなどは、換金され、南アジアの人びとの生活向上を目指した活動にいかされています。

◆ 外国コイン募金 送付先：公益財団法人日本ユニセフ協会

外国コインは、世界の子どもたちの命と健康を守るための活動に使われています。令和6年2月には、過去に寄附いただいたコイン等を日本ユニセフ協会へ送付しました。

Ⅳ 地域協働支援事業

・ 生活相談

141件の相談が寄せられました。内容は、当協会主催講座に関することやインバウンド関連、年金申請、相続、離婚、教育等に関すること、相談者も日本人（家族が外国人など）、外国人共におり、幅広く受けました。日本語教室への問合せや、インバウンドへの協力依頼などの相談が増加し、外国との往来が増加していることが伺われます。特に外国人個人に関する事柄については、慎重に話を聞き、必要があれば外国人相談センター新潟などの関係機関で調査、照会をし、回答しました。

・ 日本語支援

令和5年度は、時間を15分延長し、昼夜2講座各1時間15分ずつ、初級者を中心に実施しました。1月から3月までの夜の講座は、天候を鑑み、実施しませんでした。延べ昼19名、夜28名の登録者があり、日本の文化体験や防災関連の活動を取り入れながら、日本語理解のレベルに合わせた支援を心掛けました。講師は5名で、講師会や外部研修への参加を通して、指導力の向上に努めています。

教育委員会から小中学校への支援要請があり、日本語指導ができる言語文化サポーターを紹介しました。小学校2校（3名）、中学校2校（3名）の支援を行いました。

科 目	令和5年度予算a	公益目的事業	法人管理	決算額b	差額 = a-b	
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	522,000	393,000	129,000	522,000	0	
その他の財産運用益	0	6	3	9	△ 9	
受取会費	500,000	591,000	0	591,000	△ 91,000	
団体賛助会費	400,000	470,000	0	470,000	△ 70,000	41団体47口
個人賛助会費	100,000	121,000	0	121,000	△ 21,000	個人91名121口
事業収益	1,470,000	1,735,907	0	1,735,907	△ 265,907	
国際協力貢献事業	60,000	146,000	0	146,000	△ 86,000	翻訳・通訳 官公庁提出書類ほか
語学文化事業	1,200,000	1,345,907	0	1,345,907	△ 145,907	英語・韓国語講座
多文化理解事業	100,000	100,300	0	100,300	△ 300	文化紹介講座、キッズサマースクール、ウインターフェスタほか
その他事業	110,000	143,700	0	143,700	△ 33,700	日本語教室
受取補助金等	5,750,000	4,989,740	900,000	5,889,740	△ 139,740	
受取柏崎市負担金	5,700,000	4,800,000	900,000	5,700,000	0	
民間団体委託金	50,000	189,740	0	189,740	△ 139,740	県国際交流協会「アジアから世界を知る！」ほか
受取寄付金等	5,000	0	0	0	5,000	
雑収益	1,000	102	0	102	898	
受取利息	500	102	0	102	398	預金利息
雑収益	500	0	0	0	500	
経常収益計	8,248,000	7,709,755	1,029,003	8,738,758	△ 490,758	
(2) 経常費用						
給与	4,276,800	3,533,500	549,400	4,082,900	193,900	給与 従事割合職員2名
臨時雇賃金	164,800	407,089	0	407,089	△ 242,289	賃金 パートタイム職員5名
法定福利費	706,000	559,344	104,232	663,576	42,424	社会保険、労働保険
福利厚生費	28,000	0	10,330	10,330	17,670	健康診断費用
退職給付金	0	0	0	0	0	
退職給与引当金	60,000	0	60,000	60,000	0	
会議費	105,000	143,164	24,791	167,955	△ 62,955	執行役員会・理事会・評議員会、役員意見交換会
旅費交通費	214,000	202,264	2,650	204,914	9,086	講師、研修参加旅費
通信運搬費	207,000	158,344	19,970	178,314	28,686	プロバイダー料、切手代、電話料、Zoom契約料、振込手数料
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	
消耗品費	158,000	394,601	53,265	447,866	△ 289,866	A3プリンター、講座教材・食材費、事務用品、書籍ほか
印刷製本費	158,000	109,016	12,746	121,762	36,238	協会ニュース、コピー代、チラシ印刷代
賃借料	278,000	295,430	58,017	353,447	△ 75,447	プラザ使用料等
諸謝金	1,705,000	1,836,869	0	1,836,869	△ 131,869	講座講師・日本語教室講師等謝金、翻訳・通訳謝金
広告宣伝費	83,000	10,000	39,300	49,300	33,700	ホームページ更新支援、柏日広告料
支払負担金	20,000	20,000	0	20,000	0	新潟県国際交流協会、青年海外協力協会年会費
支払手数料		0	100,000	100,000	△ 100,000	税務相談・支援報酬
支払寄付金	5,000	0	0	0	5,000	海外災害募金活動なし
雑費	83,000	12,642	66,536	79,178	3,822	イベント保険、登記費用、証明書発行費用
経常費用計	8,251,600	7,682,263	1,101,237	8,783,500	△ 531,900	
当期経常増減額	△ 3,600	27,492	△ 72,234	△ 44,742	41,142	
科 目	令和5年度予算a	公益目的事業	法人管理	決算額b	差額 = a-b	
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 3,600	27,492	△ 72,234	△ 44,742	41,142	
一般正味財産期首残高	7,615,702	2,283,081	5,332,621	7,615,702	0	
一般正味財産期末残高	7,612,102	2,310,573	5,260,387	7,570,960	41,142	
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0			0		
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	0	
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	0	
III 正味財産期末残高	107,612,102	102,310,573	5,260,387	107,570,960	41,142	

貸借対照表
令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流動資産			
現金	15,877	23,122	△ 7,245
預金	7,228,479	7,252,509	△ 24,030
未収金	0	8,000	△ 8,000
前払費用	9,000	9,000	0
流動資産合計	7,253,356	7,292,631	△ 39,275
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
その他の財産			
コロナ禍対応事業積立預金	300,000	300,000	0
D X対応積立預金	300,000	200,000	100,000
退職給与引当預金	310,005	600,005	△ 290,000
特定資産計	910,005	1,100,005	△ 190,000
その他			
敷金	9,000	9,000	0
その他の固定資産計	9,000	9,000	0
固定資産合計	100,919,005	101,109,005	△ 190,000
資産合計	108,172,361	108,401,636	△ 229,275
II 負 債 の 部			
1 流動負債			
未払金	130,833	34,300	96,533
預り金	160,563	151,629	8,934
流動負債合計	291,396	185,929	105,467
2 固定負債			
退職給与引当金	310,005	600,005	△ 290,000
固定負債合計	310,005	600,005	△ 290,000
負債合計	601,401	785,934	△ 184,533
III 正 味 財 産 の 部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	7,570,960	7,615,702	△ 44,742
(うち当期正味財産増減額)	△ 44,742	207,973	△ 252,715
正味財産合計	107,570,960	107,615,702	△ 44,742
負債及び正味財産合計	108,172,361	108,401,636	△ 229,275

公益財団法人柏崎地域国際化協会
貸借対照表内訳表
令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人管理	合計
I 資 産 の 部			
1 流動資産			
現金	15,877	0	15,877
預金	1,920,380	5,308,099	7,228,479
前払費用	4,500	4,500	9,000
流動資産合計	1,940,757	5,312,599	7,253,356
2 固定財産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	0	100,000,000
基本財産計	100,000,000	0	100,000,000
その他の財産			
コロナ禍対応事業積立預金	300,000	0	300,000
D X 対応積立預金	300,000	0	300,000
退職給与引当預金	0	310,005	310,005
特定資産計	600,000	310,005	910,005
その他			
敷金	0	9,000	9,000
その他の固定資産計	0	9,000	9,000
固定資産合計	100,600,000	319,005	100,919,005
資産合計	102,540,757	5,631,604	108,172,361
II 負 債 の 部			
1 流動負債			
未払金	94,526	36,307	130,833
預り金	135,658	24,905	160,563
流動負債合計	230,184	61,212	291,396
2 固定負債			
退職給与引当金	0	310,005	310,005
固定負債合計	0	310,005	310,005
負債合計	230,184	371,217	601,401
III 正 味 財 産 の 部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産合計	100,000,000	0	100,000,000
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	0	100,000,000
2 一般正味財産	2,310,573	5,260,387	7,570,960
正味財産合計	102,310,573	5,260,387	107,570,960
負債及び正味財産合計	102,540,757	5,631,604	108,172,361

正味財産増減計算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 異(当-前)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益	522,000	522,000	0
その他の財産運用益			
その他の財産運用益	9	6	3
受取会費			
賛助会員会費	591,000	570,000	21,000
事業収益			
国際化事業収益	1,735,907	1,589,367	146,540
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,889,740	5,850,000	39,740
雑収益			
受取利息	102	107	△ 5
雑収益	0	7,636	△ 7,636
経常収益計	8,738,758	8,539,116	199,642
(2) 経常費用			
給与	4,082,900	4,276,800	△ 193,900
臨時雇賃金	407,089	34,300	372,789
法定福利費	663,576	704,738	△ 41,162
福利厚生費	10,330	23,390	△ 13,060
退職給付引当金繰入額	60,000	60,000	0
会議費	167,955	40,731	127,224
旅費交通費	204,914	166,284	38,630
通信運搬費	178,314	205,139	△ 26,825
消耗什器備品費	0	473,000	△ 473,000
消耗品費	447,866	375,857	72,009
印刷製本費	121,762	122,564	△ 802
賃借料	353,447	304,885	48,562
諸謝金	1,836,869	1,472,059	364,810
広告宣伝費	49,300	36,300	13,000
支払負担金	20,000	20,000	0
支払手数料	100,000	0	100,000
雑費	79,178	15,096	64,082
経常費用計	8,783,500	8,331,143	452,357
当期経常増減額	△ 44,742	207,973	△ 252,715
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 44,742	207,973	△ 252,715
一般正味財産期首残高	7,615,702	7,407,729	207,973
一般正味財産期末残高	7,570,960	7,615,702	△ 44,742
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,889,740	5,850,000	39,740
一般正味財産への振替額	5,889,740	5,850,000	39,740
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	107,570,960	107,615,702	△ 44,742

正味財産増減計算書内訳表
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人管理	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益	393,000	129,000	522,000
その他の財産運用益			
その他の財産運用益	6	3	9
受取会費			
賛助会員会費	591,000	0	591,000
事業収益			
国際化事業収益	1,735,907	0	1,735,907
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	4,989,740	900,000	5,889,740
雑収益			
受取利息	102	0	102
雑収益	0	0	0
経常収益計	7,709,755	1,029,003	8,738,758
(2) 経常費用			
事業費			
給与	3,533,500	0	3,533,500
臨時雇賃金	407,089	0	407,089
法定福利費	559,344	0	559,344
会議費	143,164	0	143,164
旅費交通費	202,264	0	202,264
通信運搬費	158,344	0	158,344
消耗品費	394,601	0	394,601
印刷製本費	109,016	0	109,016
賃借料	295,430	0	295,430
諸謝金	1,836,869	0	1,836,869
広告宣伝費	10,000	0	10,000
支払負担金	20,000	0	20,000
雑費	12,642	0	12,642
管理費			
給与	0	549,400	549,400
法定福利費	0	104,232	104,232
福利厚生費	0	10,330	10,330
退職給与引当金繰入額	0	60,000	60,000
会議費	0	24,791	24,791
旅費交通費	0	2,650	2,650
通信運搬費	0	19,970	19,970
消耗品費	0	53,265	53,265
印刷製本費	0	12,746	12,746
賃借料	0	58,017	58,017
広告宣伝費	0	39,300	39,300
支払手数料	0	100,000	100,000
雑費	0	66,536	66,536
経常費用計	7,682,263	1,101,237	8,783,500
当期経常増減額	27,492	△ 72,234	△ 44,742
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	27,492	△ 72,234	△ 44,742
一般正味財産期首残高	2,283,081	5,332,621	7,615,702
一般正味財産期末残高	2,310,573	5,260,387	7,570,960
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金	4,800,000	900,000	5,700,000
民間団体委託金	189,740	0	189,740
一般正味財産への振替額	4,989,740	900,000	5,889,740
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産期末残高	100,000,000	0	100,000,000
III 正味財産期末残高	102,310,573	5,260,387	107,570,960

財 産 目 録
令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	公益財団法人柏崎地域国際化協会	運転資金として	15, 877
	預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	5, 007, 899
		定期預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	2, 220, 580
	前払費用	遠藤 聡子	4月分職員利用駐車場料金として	9, 000
流動資産合計				7, 253, 356
(固定資産)				
基本財産	有価証券	139回共同発行市場 公募地方債 みずほ証券	公益目的保有財産であり、運用益を国際化協会の事業及び管理目的の財源として使用している。	50, 000, 000
		149回共同発行市場 公募地方債 野村証券		50, 000, 000
その他の財産	コロナ禍対応事業 積立預金	定期預金 柏崎信用金庫 本店	アフターコロナに対応する事業のための積立金	300, 000
	D X 対応積立預金	定期預金 柏崎信用金庫 本店	D X に対応する事業のための積立金	300, 000
	退職給与引当預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	退職金支給に向けての積立金	310, 005
その他	敷金	遠藤 聡子	駐車場を借りるための敷金 契約期間：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで	9, 000
固定資産合計				100, 919, 005
資産合計				108, 172, 361
(流動負債)				
	未払金		令和6年4月支給の令和6年3月分臨時雇賃金及び 令和6年4月1日口座引落となる社会保険料、通信料	130, 833
	預り金	職員、講座講師から預かっているもの	源泉所得税、市県民税、社会保険料の預り金	160, 563
流動負債合計				291, 396
(固定負債)	退職給与引当金		退職金支給のための引当金	310, 005
固定負債合計				310, 005
負債合計				601, 401
正味財産				107, 570, 960

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券は、取得価格を採用している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、前払費用、敷金及び預り金を含めている。

2 会計方針

新公益法人会計基準によっている。

3 基本財産・その他の財産(特定資産)・その他の財産(その他)の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
その他の財産(特定資産)				
退職給与引当預金	600,005	60,000	350,000	310,005
コロナ禍対応事業積立預金	300,000	0	0	300,000
D X対応積立預金	200,000	100,000	0	300,000
小 計	1,100,005	160,000	350,000	910,005
その他の財産(その他)				
敷金	9,000	0	0	9,000
小 計	9,000	0	0	9,000
合 計	101,109,005	160,000	350,000	100,919,005

4 担保に供している資産

該当事項なし

5 減価償却資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項なし

6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の期末残高

該当事項なし

7 保証債務

該当事項なし

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

*評価額は、令和6年3月29日時点における証券会社の評価・算定価格である。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	*評価額	評価損益
共同地方債			
139回共同発行市場公募地方債	50,000,000	50,125,000	125,000
共同地方債			
149回共同発行市場公募地方債	50,000,000	50,219,500	219,500
合 計	100,000,000	100,344,500	344,500

9 負担金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
負担金	柏崎市	0	5,700,000	5,700,000	0
委託金	(公財)新潟県国際交流協会	0	150,000	150,000	0
負担金	(一財)自治体国際化協会	0	39,740	39,740	0
合 計		0	5,889,740	5,889,740	0

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
事業費への充当額	4,989,740
管理費への充当額	900,000
合 計	5,889,740

11 関連当事者との取引の内容

該当事項なし

以上

公益財団法人柏崎地域国際化協会役員等名簿

令和6年6月12日現在

役職名 氏 名
(任期：令和5年6月12日から令和7年度定時評議員会終結の時まで)

理 事 長	三井田史夫
副 理 事 長	石黒 好夫
常 任 理 事	山本 睦子
理 事	赤堀 秋生
理 事	木村あゆみ
理 事	小林 伸子
理 事	長澤 智信
理 事	蓮池 薫
理 事	細山 巧
理 事	安野 広明
理 事	李 虎奎

(任期：令和5年6月12日から令和9年度定時評議員会終結の時まで)

監 事	赤堀 洋幸
監 事	吉田 勝彦

(任期：令和5年6月12日から令和9年度定時評議員会終結の時まで)

評議員会会長	関井 忠和
評 議 員	片山 一弘
評 議 員	佐藤 尚子
評 議 員	品田 伸自
評 議 員	長野 大拓
評 議 員	中村 藤浩
評 議 員	野村 秀子
評 議 員	渡邊 浩太

(任期：令和6年6月12日から令和10年度定時評議員会終結の時まで)

評 議 員	加藤 武男
-------	-------